

週刊 観光経済新聞
 宿泊・旅行業運輸・自治体(観光全般)
 日本専門新聞協会加盟紙
 国土交通省交通運輸記者会所属
 発行所 東京都台東区池之端2-1-10-0008
 D Sビル 株式会社 観光経済新聞社
 電話 03(3827)9800(代)
 FAX 03(3827)9730
 関西支社 大阪府北区天満2-1-20
 天満松茂ビル 電話 06(6354)6166・6290
 FAX 06(6354)6292
 北海道支社 札幌市東区北22条3丁目
 ハイテクビル202 電話 011(207)3777
 FAX 050(3488)4375
 東北支社 仙台市青葉区本町1-12-7
 本町プラザビル8F 電話 022(225)8390
 FAX 022(225)0850
 九州支社 福岡市博多区博多駅前4-4-21
 クリーンビル3F 電話 092(477)5711
 FAX 092(471)0778
 購読料年間一部8,400円
 (うち消費税 400円)
 郵送料 2,600円
 振替口座 00140-2-86888番
 Email info@kankokei1.zai.com

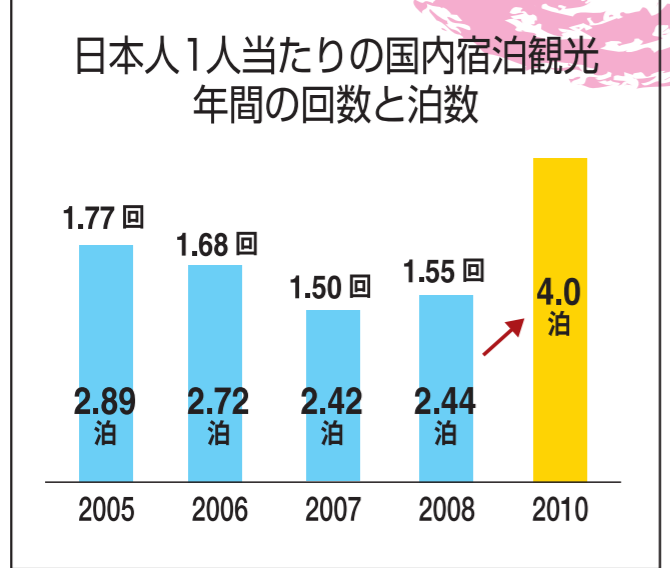
訪日外客 3,000万人

政府の掲げる目標は、将来的に3,000万人、2019年に2,500万人。都市圏やゴールデンルートにとどまらず、いかに地方に外国人を呼び込むか。

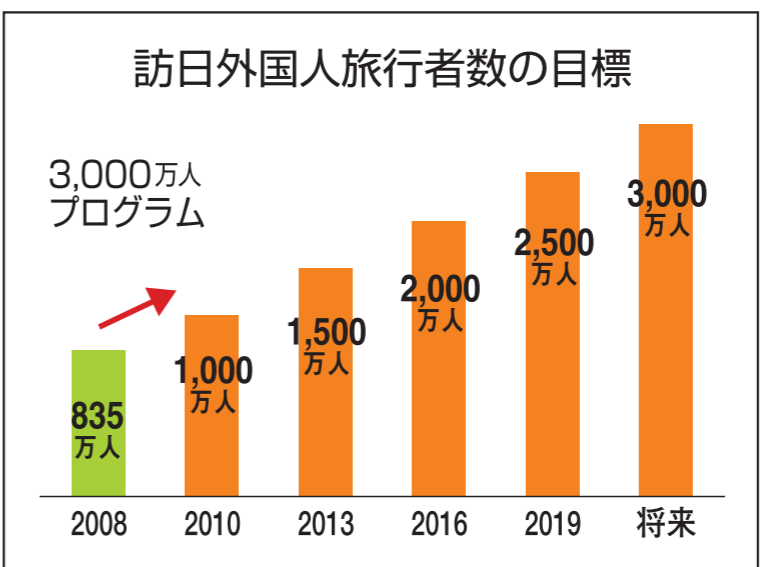


2010年のキーワード 観光立国は地方から

国内観光 4.0泊



国内観光の活性化なくして、観光立国は実現できない。日本人1人当たり年間4.0泊の達成に向け、滞在型観光、着地型旅行の確立を。



MICE

Meeting, Incentive travel, Convention, Event/Exhibition
 国際会議や国際見本市の誘致・開催は、経済波及効果が高く、地域の国際化を促進する。受け入れ態勢整備や専門的な人材の育成が課題。

旅館再生

旅行者の受け入れの中核、地域の文化の拠点である旅館。宿泊客の満足度向上、経営改善、地域との連携にどう取り組むか。外客への対応も急務。



観光圏
 旅行者の視点に立った観光地づくりには、行政区域の境、業種の壁を越えた連携が欠かせない。地域の特性を生かした景観整備や地産地消も重要。

休暇制度改革

観光立国にふさわしいワーク・ライフ・バランス(仕事と生活の調和)のあり方とは?有給休暇の取得促進、休暇の分散化は、旅行需要の喚起・平準化、地域経済の活性化につながる。

株式会社 ニイタカ
 代表取締役社長 森田 千里雄
 株式会社 ニイタカ
 〒532-8560 大阪市淀川区新高1-8-10
 TEL 06-6391-3221

ホテルの資金計画をしっかりとサポート
 申込書とクーポン券を事前にFAX
 クーポン到着日に資金化されます。
株式会社 オートリ
 TEL 03-5210-2530
 URL http://www.ohrtor-go.co.jp/
 【日本ホテルファンドとMr.クーポン事業を承継】

新年号第1部
 ☆3・4面 観光庁・本保芳明長官、日本観光協会・中村裕夫会長、日本政府観光局(JNTO)の特別座談会
 ☆8・11面 観光業界4社トップ座談会
 ☆17・19面 観光業界4社トップ座談会
 ☆18・19面 観光業界4社トップ座談会
 ◎新年号の主な記事◎

Asahi 生ビール
 洗練されたクリアな味。辛口。SUPER "DRY"
 生ビール飲酒は20歳になってから。飲酒運転は法律で禁止されています。アサヒビール株式会社

絶賛発売中!
最新ホテル企業会計完全マスター
 山口祐司監修
 山口祐司、青木章通、北岡忠輝共著 A5判 定価2625円(税込)
 生き残りのために今求められているのは、国際基準に合致し、かつ透明性の高い企業会計の仕組みを確立すること。宿泊業界必須の最新知識を幅広く網羅したホテル企業会計解説書の決定版。
直伝! ホテル経営の真髓
 中村裕著 四六判 予価1890円(税込)
 ロイヤルパークホテルの会長で日本ホテル協会会長の中村裕氏は、半世紀近く日本のホテル業界の現場で活躍、この世界の生き字引的存在である。グローバル化が進む時代、今後の日本のホテルのあり方、進むべき道を内外に向けて発信する。

月刊 **ホテル旅館**
 毎月22日発売 ●A4変型判・約180頁 ●定価2100円(税込)
 phone 問合せ窓口03-5816-8282 ホームページ=http://www.shibatashoten.co.jp
 お求めはお近くの書店へ 柴田書店
変革の時代を生き抜くための新しい経営に向けて、活きた情報を発信する 宿泊産業の専門誌
2010年1月号(好評発売中)内容
 (特集) **日本の宿泊・観光産業の未来 ~2010年大展望**
 1. 業界主要5団体会長新春インタビュー
 日本ホテル協会 中村裕会長/全日本シティホテル連盟 清水信夫会長
 全国旅館生活衛生同業組合連合会 佐藤信幸会長
 国際観光旅館連盟 佐藤義正会長/日本観光旅館連盟 近藤孝休会長
 2. 日本のホテル・旅館トップ経営者115人年頭所感「2010年、わが社の展望と課題」
 (ワトレポート) **創設100周年を迎え、新たな一歩を踏み出す日本ホテル協会**
 (特別企画) **旅館業と世界ブランドの融合**
 価値開発(株)&ベストウェスタンインターナショナルの注目新規事業
 (新春カラー特別企画) **ホテルが打ち出す個性派「おせち料理」2010年版**
 (カラー連載)
 ◆旅の窓から(山口由美) 台湾・烏来温泉~山と湯煙と神秘的の青
 ◆今月の新作ホテル ホテルビューハリス/ホテル京阪 浅草
 ◆南イタリア、ワイナリーを巡るホテル(佐藤美子)
 コスタティツィアーナ ホテル リゾート
 (本文連載)
 ●GM人間学(八百久美子) 浦辺勲氏(京王プラザホテル常務取締役総支配人)
 ●新・旅館マネジメントの時代(松坂健) 松本富子氏(紅葉館別荘あざれ)
 ●観光立国ニッポンの条件(永宮和美) ニューツーリズムの可能性
 ●こんなところにエコロジー(せきまきょう) プーチンサイ・マウンテンリゾート&SPA
 ●クロスアップ「インバスター・インスティテュショナル」世界のホテルランキング
 ●コーネル・ホスピタリティ・クォーター誌から
 「不確実な時代の競争価格決定法」/RevPAR上昇を待つだけでなく考察する」
2010年2月号(1月22日発売)予告
 (特集) **効率的なオペレーションと最大売上げ&利益を実現する「IT」活用法**
 (特別企画)
 ●ホテル旅館における「IT革命」の変遷
 ●誌上セミナー「IT初心者のための基礎講座」
 ●部門別にみるIT導入事例
 ●IT投資「費用対効果」の検証
 (特別企画)
旅館の国際化と新スタイル旅館の誕生
 (トピックインタビュー)
 ザ・ベニンシュラホテルズCOO
 ピーター・C・ポーラー氏